

関西大学幼稚園

2024年度

園児募集



子どもの健やかな成長のためには、教育内容はもちろんのこと、日々の過ごし方が非常に重要です。時代とともに子どもを取りまく環境が変化している昨今、子どもが一日の大半を過ごす大切な場である幼稚園のあり方も大きく問われるところでありましょう。本園は、そのことを真剣に受け止め、恵まれた自然環境の中でひとりひとりの子どもを大切に見守り、充実した保育にあたっております。

園児募集 案内配布

9/1(金)より
午前10時～11時

入園説明会

9/2(土) ※スリッパ持参
午前10時～10時45分
幼稚園ホール
開場 午前9時45分
(説明会終了後、11時15分まで
園内施設見学ができます。)

要予約

園内参観の日程

9/4(月)・9/5(火)
9/6(水)・9/7(木)
①午前9時30分～10時00分
②午前10時10分～10時40分
各回8名まで

要予約

受付

10/1(日)
午前8時30分～9時
検定料3,000円をそえて
願書を提出してください
(万一、募集人員を超えた場合
には抽選いたします。)

募集人員

3年保育 約70名(優先児を含む)
2020年4月2日生まれより 2021年4月1日生まれまで
2年保育 10名程度
2019年4月2日生まれより 2020年4月1日生まれまで

通園方法

- ・電車もしくは徒歩による集団通園(職員による送迎)
- ・個人通園

詳しくは、ホームページをご覧ください。



関西大学幼稚園

〒564-0073 大阪府吹田市山手町3丁目5番34号
(阪急電車関大前駅南へすぐ)
TEL(6387)3752 FAX(6388)9919
www.kansai-u.ac.jp/yochien/index.html



ホームページはこちら



関西大学幼稚園が大事にしていること

子どもの根っこを育てます

子どもは遊びを通して、将来にわたる生き方を身に付けます。しっかりと遊ぶことにより、生きる力の根っこが育ちます。



Parent's voice 保護者の声

- 「心の根っこを育むことの出来る幼稚園」としてこれからも大事にしてほしいです。
- 勉強よりも大切な、子供の心の成長をいろんな行事や生活の中で教育してくれている。

日本の伝統行事を大切に 四季折々に経験します

日本の伝統文化における行事(端午の節句・七夕まつり・お月見・お餅つき・豆まき・ひなまつり)や風習を知り、興味や関心を持たせます。



Parent's voice 保護者の声

- 季節の行事や季節の移り変わりを大事に感じながら過ごす日々が大好きです。昔からある季節の行事を子供達に伝えている点。

留学生との交流を日常の中で

関西大学に在籍している外国人留学生との交流を実施してきました。(絵本を読む・歌を歌う・ゲームをする・一緒に給食を食べる・園庭で遊ぶ)一緒に楽しく過ごす中で、外国語の響きや習慣などを知り、世界にはいろいろな国や言語があることに興味や関心を持たせることをねらいとしています。違いを認め合う人間関係の礎となることを願っています。



Parent's voice 保護者の声

- 関大の留学生との交流は、幼児の時から外国の方に興味を持たせてもらえてありがたいので、引き継いでほしいと思います。留学生との交流を持つことで、早期に外国語を勉強することよりも、世界の国々に興味を持って学ぶ意欲につながるので、素敵なお取り組みだと感じています。

時代に流されない教育

Parent's voice 保護者の声

- 時代や世の中の流行、保護者のための保育ではなく、あくまで子供を真ん中に、ただひたすら将来を含めて子供のために考えてくださっていると思います。関大幼稚園が大切にしているコアな部分はぶらさず守ってほしいです。一つ一つの事柄を「じっくり味わう」という経験はこれからの子供達にとって本当に大切だと思います。また、親にとっても「ゆっくり考える」時間は今の時代必要です。関大幼稚園の方針は今の時代だからこそ求められていると思います。どうか変えないでください。
- 小学校入学準備など目先の教育ではなく、一人の大人となるために長い目線で子供の成長を考えている教育は、他の園よりも突出している部分であり、これからも引き継いでほしいと思います。

いつも子どものことを第一に

私たちは常に、どのような取り組みにおいても「それは、子どもにとってどうなのか?」と考えています。



Parent's voice 保護者の声

- 親へのアピールを一番に色々やらせるのではなく、今、この時の成長に大切なものを優しく見守ってくださっているのが大好きです。親の都合でなく子供を一番に考えてくださる事。いつも子供にとって何が大切か考えて、どの先生、いつお聞きしても同じ答えが返ってきます。
- 中学1年の息子も小3の娘も学校で「人の話を聞ける」「授業に目を輝かせながら受ける」と小学校の先生からは「どのように育ててきましたか」と褒めていただいています。その度に「幼稚園での…」と私が親として過ごさせてもらった園での教えをお話しております。

おうちの方と一緒に

うれしいことはもちろん、困ったことやしんどいことを保護者と一緒に考えていきます。

- 子供たち中心、大人はそれをサポートする姿勢は変わらずにあってほしいです。見せる保育ではなく子どもたちが主役のありのままの姿で大切に毎日を過ごす。子どもたちだけでなく親のサポートもして下さった園なのでそれもありたいです。